

平成29年度 事業報告書



社会福祉法人中蒲原福祉会 法人事務局

介護員養成研修事業

介護職員等による喀痰吸引等研修

移動支援事業従事者養成研修事業

〒950-0121 新潟県新潟市江南区亀田向陽2丁目6番1号

TEL 025-382-8251

FAX 025-382-8252

目 次

○ ま え が き	2
1 法人事務局の重点目標	2
2 職員配置の動向	3
3-1 介護員養成研修事業	4
3-2 喀痰吸引等研修	4
3-3 移動支援事業従事者養成研修事業	4
4 新規事業の立ち上げ	5
5 補助金事業	5
6 年間活動報告	6

まえがき

『利用者満足される「質の高い福祉サービス」の安定的かつ継続的な提供』を目指し、理事長をはじめ理事・評議員・監事、そして各施設とも連携を図り取り組んできた。利用者のご家族が満足するサービス、そして職員も「働きやすい」「長く勤めたい」と感じられる職場環境の実現のために今後も活動していきたい。

1 法人事務局の重点目標

(1) 社会福祉法人制度改革への対応

- ・平成29年4月に施行された社会福祉法人制度改革に対応し、改正後の新たな定款に則って評議員会・理事会を開催した。評議員・理事・監事との連携を図りつつ、行政等の関係機関への照会や協議を丁寧に行い、スムーズに新制度に移行することができた。
- ・会計監査人の指導、助言を受けながら、事務処理の効率化と責任の明確化を進めた。今後は決算の認定に向けて引き続き連携を図る。

(2) 各施設への働きかけの強化

- ・「説明と同意、選択の機会の提供を意識した声掛け」や、法人・施設の目標を明確にした「あるべき姿と現状のギャップを問題解決につなげる」といった内容を中心に、各施設での園内研修を18回開催した。介護業界の大きな流れでもある「持ち上げない介護」の浸透については、新型の福祉用具を事務局で購入し、各施設に貸し出して活用してもらい、効果を実感することで本格的な導入につなげるよう努めた。
- ・経営者会議での情報共有、介護事故等の情報を速やかに伝達する注意喚起速報の発行、各施設との密な情報交換等を推進することができた。しかしながら、規模の大きな組織が連携を保つことの難しさを痛感した1年でもあった。引き続きこの活動を継続していきたい。

(3) 役職者の資質向上のしくみの構築

- ・管理職と役職者、リーダー級職員を対象とした「組織の意識改革総合研修」を7ヶ月間に渡り開催し、99名全員が全課程を修了した。各施設からはこの研修で得た知識を役立てている事例も報告されている。また、中蒲原福祉会のどの施設でも共通する報告・連絡・相談の課題が明らかになったことや、明確かつ具体的な指示の出し方といった、組織として基本的な部分について学ぶことができ、今後の法人運営に大きな影響を与える有意義な機会となっ

た。30年度も引き続き実施することが決定している。

- ・役職者が求められる知識・技術を明文化し、課題を示して成長を促すための「役職者のための評価表」の制定を目指していたが、前述の研修のボリュームも大きく見送りとなった。より良い方法を模索していきたい。

(4) 新採用職員全体研修等の企画・運営、職場環境向上への取り組み

- ・例年通り、4月に3日間×2コースの新採用及び中途採用職員の全体研修を開催、2月に準職員定期採用試験・正職員昇任試験を実施した。
- ・働きやすい職場づくりの一環として、自己申告書や面談による職員それぞれの意向の把握に努め、園長・施設長・役職者と連携を図った。
- ・各施設で起こる職場内の諸問題に対し、聞き取り調査や面談を実施し、その内容を経営者会議や園内研修に反映させ、働きかけを行った。思うように改善しない問題も多々あるが、役職者やリーダー級職員の当事者意識を育て、積極的に問題解決に取り組むことのできる組織を目指していきたい。

(5) 健全な経営基盤の確立

- ・各事業の実績や福祉事業全体の動向を把握し、よりの確に経営者会議や評議員会・理事会に情報提供するための報告資料の見直しに着手した。会計監査人からのアドバイスも活かし、形式的な報告を削減して事務量の軽減を実現している。今後、より有意義な報告と活発な議論のためにも、意見を交わしていきたい。

2 職員配置の動向

法人事務局には経理・雇用管理・規程整備・介護技術・職員指導等の各分野専門職を配置し、各施設の園長・施設長を始め幅広い職員と連携し業務を進めてきた。また透明性の高い法人運営のため、税理士法人、社会保険労務士事務所及び公認会計士を抱える監査法人と業務委託契約を結び、ご指導をいただいている。

3-1 介護員養成研修事業（定員24名）

研修実施状況

コース	受講者数
第1回（4月開講）	7名
第2回（8月開講）	13名
合 計	20名

平成16年度に「ホームヘルパー2級養成研修」としてスタートしたこの研修事業も、制度の厳格化や地域のニーズの変化によりその役割を終え、29年度末をもって廃止とした。

3-2 喀痰吸引等研修（定員20名）

研修実施状況

コース	受講者数
第1回（5月開講）	13名
第2回（11月開講）	13名
合 計	26名

介護現場等における痰の吸引等のニーズや実態を踏まえ、法人内介護職員及び地域の介護職員に専門的な研修の場を提供してきた。今後も幅広く研修の場を提供していきたい。

3-3 移動支援事業従事者養成研修事業（定員40名）

研修実施状況

コース	受講者数
第1回（5月開講）	8名
第2回（10月開講）	15名
合 計	23名

20代から60代の方まで男女を問わず幅広い年齢層の方から受講いただいた。そのうち福祉に従事している4割の方と、その他一般の方々にガイドヘルパーに必要な知識と技術を伝えることができた。

4 新規事業の立ち上げ

(1) 特別養護老人ホーム「こすど蒼丘の里」特別養護老人ホーム転換及び増築、障害福祉サービス事業「フルールこすど」(多機能型)

新潟市の公募事業によるユニット型ショートステイ10床の特養転換を行い、不足するショートステイを増築することで20床確保した。

これに併せて、障がい者福祉に対するニーズの高まりを受けて、生活介護と就労継続支援B型を行う施設「フルールこすど」を建設し、事業者指定を受けてサービス提供を開始した。今後、稼働率やニーズの推移を勘案しつつ、現状は活用していない障害者の短期入所部分の事業開始を目指す。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)への移行

平成29年4月にデイサービスセンター向陽園とゆったりサロンにこやかで、通所介護と一体で実施する指定通所型基準緩和サービスを開始した。また10月には、向陽の里喫茶スペースを活用したサービスを開始している。今後の活用が期待される。

(3) 障がい福祉サービス事業「メイプルかめだ」2号館(就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練))

平成26年度開設の「メイプルかめだ」の実績により事業拡大の期待が高まる中、地域のニーズに応えるため近隣の土地・建物を購入して改築し、メイプルかめだに付随する拠点として就労継続支援B型事業を開始した。また新たな取り組みとして、障害者が自立した生活を地域で送るための能力を身に付ける「自立訓練」の指定を受け、サービス提供を開始した。

5 補助金事業

補助事業名	補助主体	事業内容
障害者雇用調整金	独立行政法人 雇用支援機構	障害者雇用 1,498,500円
キャリア形成 促進助成金	新潟労働局	外部研修参加費助成 24,200円

法定の割合を上回る障害者雇用を維持し、補助金支給額は前年度比で約3割増となった。この他の補助制度も積極的に活用していきたい。

6 年間活動報告

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会等		理事会 監事監査 (3日間)	理事会 評議員会		理事会 評議員会		理事会	評議員会	理事会			理事会 評議員会
園内研修			横雲の里 記録研修 (2回)	にこやか 接遇研修 (2回)	向陽等 接遇研修 (2回)	にこやか リスク研修 (2回)	蒼丘の里 接遇研修 (2回)	横雲の里 早通の里 接遇研修 (4回)	横雲の里 認知症研修 (2回)		にこやか 食事研修 (2回)	
外部講師 による研修			管理者研修	管理者研修 リーダー研修	管理者研修 リーダー研修	管理者研修 リーダー研修	管理者研修 リーダー研修	管理者研修 リーダー研修	管理者研修 リーダー研修	リーダー研修		
その他 研修	新採用 全体研修 (6日間)		パート職員 基礎研修 (3日間)	新採用 フォロー アップ研修			新採用 フォロー アップ研修		パート職員 基礎研修 (3日間)	新採用 フォロー アップ研修		
就職 ガイダンス			県社協 医療福祉大	マイナビ ツクイ 医療福祉 カレッジ					ツクイ 青陵大学			
定例の 活動	<p>経営者会議（毎月） 新卒者採用試験（6月） 職種別分科会（随時）</p> <p>自己申告書（9月） 準職員定期採用試験・正職員昇任試験（2月）</p>											